学校番号	1101

令和八年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	観光地理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	国内観光地理サブノート　（JTB 総合研究所）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・プリント等を用いた授業により、各地域の観光名所や特産品の知識を深める。
・小テストを実施し、知識の定着をはかる。
・副教材のサブノートを活用し、地域名等を学習する。
・各地域のスライド課題は、Chromebook を利用して作成する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
プリントを用いた学習で日本各地の観光地や特産品についての知識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
興味・関心に合わせたテーマを自ら設定し、スライド作成と発表を行う。
【学びに向かう力、人間性等】
興味・関心に合わせた調べ学習により国内の地理的教養を深め、自身の生活に役立てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本各地の自然環境や観光資源に関する知識を身に付ける。 ・資料や情報を効果的に調べ、まとめる。	・自ら設定したテーマに取り組み、発表や討論などで自己の考えを表現している。 ・身につけた知識や概念を活用して、多面的・多角的に考察できている。	・観光地や日本文化について、その意義や背景にある歴史等について調べ、主体的に学ぼうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本の観光地（北海道地方～中部地方）	日本国内の代表的な観光地や地域名ついて、写真等を見ながら基礎的な知識を得る。 ワークノートに取り組み、学習内容を主体的に整理・理解し教養を身につける。 関連する地域や観光地を自ら調べ、理解を深め、スライドを作成し発表する。	a: 日本の都道府県名や地域名、観光地や文化、特産品等を正しく理解し、名前と位置を答えることができている。 b: 観光地や文化、特産品等の・歴史的背景を理解し正しく説明できている 内容を精選し、理解しやすく工夫して表現している。 c: 学ぶ中で生じた新たな疑問を言語化し、主体的に探究しようとしている。 スライド作成時、主体的に調べ、オリジナルな作品づくりをしている。また、内容を工夫して、取り組みの意欲を高めている。	授業内 テスト 小テスト	授業内 テスト 小テスト 発表	授業態度 提出課題 ノートメモ 振り返りシート等
後期	日本の観光地(近畿地方～九州・沖縄地方)					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度